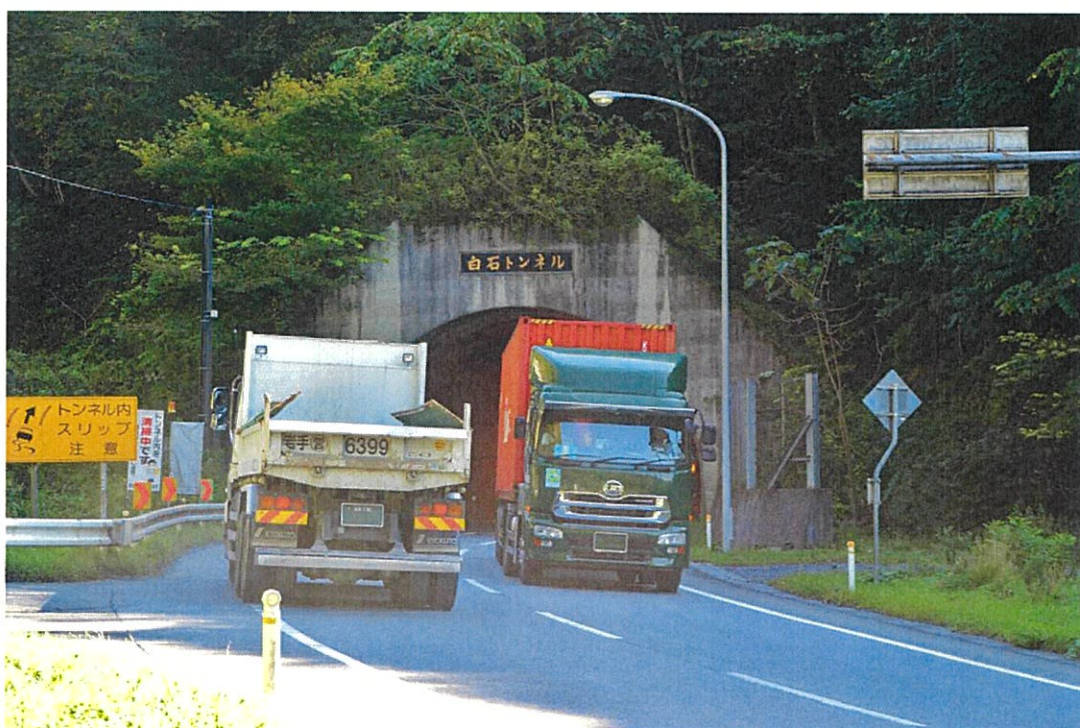


令和6年7月22日

# 要 望 書

岩手県知事

達増 拓也 殿



一般国道 107 号（大船渡・遠野間）整備促進並びに  
（仮称）大船渡内陸道路高規格化実現期成同盟会

## 国道 107 号の改良整備等について

国道 107 号につきましては、大船渡市、陸前高田市、住田町の気仙地域から、遠野市を經由し北上市、奥州市、花巻市を結ぶ基幹的な路線であり、地域連携や多様な交流促進による自立的な社会形成を図る上で重要な路線であります。しかし、急カーブ・急勾配、峠部の路面凍結など、安全で安心な通行を阻害する要因が多く残されており、幹線道路としての改良整備は極めて重要な課題となっております。

こうした中、国道 107 号白石峠区間改良整備の事業化は、地域住民並びに関係者にとって大変喜ばしく、取組の加速を期待するものであります。

さらに、岩手県におかれましては、令和 3 年 6 月に大船渡市と遠野市を結ぶ国道 107 号及び高規格道路としての役割が期待される構想路線である（仮称）大船渡内陸道路を、広域道路ネットワーク路線に位置付けた新広域道路交通計画を策定しております。

重要港湾大船渡港を擁する気仙地域と工場集積の進む県内陸部を結ぶ広域道路ネットワークは、新たな企業立地、港湾の利活用、流通効率化による農林業や水産業の振興、交流人口拡大による観光振興や防災学習、災害時の円滑な支援活動、救命救急医療の充実等に資するとともに、国際リニアコライダー（ILC）実現の折にも重要な役割が期待されております。

こうしたことから、広域道路ネットワーク整備は地域における持続可能な社会の実現に必要不可欠であると捉えており、住民からの要望の声も日増しに高まっております。

つきましては、気仙と県央を結ぶ地域の発展のため、横断軸としての広域道路ネットワークの機能が発揮されるよう、次の事項について、特段の御配慮をお願いいたします。

- (1) 一般国道 107 号白石峠区間改良整備の早期着工
- (2) （仮称）大船渡内陸道路の高規格化の早期実現
- (3) 一般国道 107 号未改良区間の整備の早期事業化（荷沢峠）